

令和6年度進行管理・評価シート
大津市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月23日認定）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 大津市歴史的風致維持向上協議会の開催		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 大津市景観計画の改定		2
2 景観保全型広告整備地区の新規設定		3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物の資料館などとしての活用		4
2 歴史的風致形成建造物への指定と保存のための整備		5
3 町家の利活用の支援		6-7
4 まちなみ修景整備への補助		8
5 道路の美装化		9
6 祭行事の開催費用の補助		10
7 歴史的観光資源を活用した事業への補助		11
8 地域の歴史資料館の運営の補助		12
9 地域固有の歴史・文化遺産の発信		13
10 東海道統一案内看板の普及啓発		14
11 地域の人材活躍の支援		15-17
12 大津まちなか大学の開催		18
13 大津人実践講座の開催		19
14 観光施設の維持管理		20
15 公共空間の活用		21
16 道路の拡幅整備(都市計画道路比叡辻日吉線)		22
17 道路の拡幅整備(都市計画道路本堅田衣川線)		23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 未指定文化財の調査		24
2 文化財保存修理などへの補助		25
3 大津市伝統的建造物群保存地区での修理修景への補助		26
4 文化観光振興などへの助成		27
5 埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催		28
6 歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施		29
7 歴史博物館での資料の調査や収集		30
8 れきはく講座などの開催		31
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 歴史まちづくりに関する新聞報道記事		32
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		33

評価軸①-1 組織体制																																																			
項目																																																			
大津市歴史的風致維持向上協議会の開催																																																			
令和 6 年度 現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																																																			
計画に記載している内容	大津市歴史的風致維持向上協議会は、大津市歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議並びに実施に係る連絡調整を行う。																																																		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で																																																			
・協議会委員の改選 令和 6 年 1 0 月 1 日 ・協議会の開催 令和 7 年 2 月 1 7 日 第 1 4 回大津市歴史的風致維持向上協議会 開催 ※会議結果については、大津市ホームページに掲載																																																			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）																																																		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	次年度以降も継続して協議を進め、大津市歴史的風致維持向上計画の実現に努める。																																																		
状況を示す写真や資料等																																																			
大津市歴史的風致維持向上協議会委員名簿新旧対照表																																																			
新																																																			
旧																																																			
令和 6 年度大津市歴史的風致維持向上協議会																																																			
令和 5 年度大津市歴史的風致維持向上協議会																																																			
委員名簿（敬称略）																																																			
委員名簿（敬称略）																																																			
令和 6 年 10 月 1 日時点																																																			
令和 5 年 10 月 1 日時点																																																			
<table><tr><th></th><th>委員氏名</th><th>所属等</th></tr><tr><td rowspan="3">学識経験者</td><td>中嶋 節子</td><td>京都大学大学院人間・環境学研究科 教授</td></tr><tr><td>岡井 有佳</td><td>立命館大学理工学部 教授</td></tr><tr><td>田口 真太郎</td><td>成安造形大学未来社会デザイン共創機構 講師</td></tr><tr><td rowspan="3">関係団体代表</td><td>寺島 正和</td><td>公益社団法人びわ湖大津観光協会 副会長</td></tr><tr><td>柴山 直子</td><td>大津百町エリア部会 委員</td></tr><tr><td>福家 俊彦</td><td>天台寺門宗総本山圓城寺 長吏</td></tr><tr><td>関係行政機関</td><td>北村 智顕</td><td>滋賀県土木交通部 技監</td></tr><tr><td rowspan="2">市職員</td><td>杉江 進</td><td>大津市歴史博物館 館長</td></tr><tr><td>三國 昌克</td><td>大津市都市計画部 部長</td></tr></table>		委員氏名	所属等	学識経験者	中嶋 節子	京都大学大学院人間・環境学研究科 教授	岡井 有佳	立命館大学理工学部 教授	田口 真太郎	成安造形大学未来社会デザイン共創機構 講師	関係団体代表	寺島 正和	公益社団法人びわ湖大津観光協会 副会長	柴山 直子	大津百町エリア部会 委員	福家 俊彦	天台寺門宗総本山圓城寺 長吏	関係行政機関	北村 智顕	滋賀県土木交通部 技監	市職員	杉江 進	大津市歴史博物館 館長	三國 昌克	大津市都市計画部 部長	<table><tr><th></th><th>委員氏名</th><th>所属等</th></tr><tr><td rowspan="3">学識経験者</td><td>中嶋 節子</td><td>京都大学大学院人間・環境学研究科 教授</td></tr><tr><td>岡井 有佳</td><td>立命館大学理工学部 教授</td></tr><tr><td>加藤 賢治</td><td>成安造形大学地域実践領域 教授</td></tr><tr><td rowspan="3">関係団体代表</td><td>金子 博美</td><td>公益社団法人びわ湖大津観光協会 副会長</td></tr><tr><td>柴山 直子</td><td>大津百町エリア部会 委員</td></tr><tr><td>鷲尾 龍華</td><td>石山寺 座主</td></tr><tr><td>関係行政機関</td><td>黒澤 伸行</td><td>滋賀県土木交通部 技監</td></tr><tr><td rowspan="2">市職員</td><td>木津 勝</td><td>大津市歴史博物館 副館長</td></tr><tr><td>内川 直樹</td><td>大津市都市計画部 部長</td></tr></table>		委員氏名	所属等	学識経験者	中嶋 節子	京都大学大学院人間・環境学研究科 教授	岡井 有佳	立命館大学理工学部 教授	加藤 賢治	成安造形大学地域実践領域 教授	関係団体代表	金子 博美	公益社団法人びわ湖大津観光協会 副会長	柴山 直子	大津百町エリア部会 委員	鷲尾 龍華	石山寺 座主	関係行政機関	黒澤 伸行	滋賀県土木交通部 技監	市職員	木津 勝	大津市歴史博物館 副館長	内川 直樹	大津市都市計画部 部長
	委員氏名	所属等																																																	
学識経験者	中嶋 節子	京都大学大学院人間・環境学研究科 教授																																																	
	岡井 有佳	立命館大学理工学部 教授																																																	
	田口 真太郎	成安造形大学未来社会デザイン共創機構 講師																																																	
関係団体代表	寺島 正和	公益社団法人びわ湖大津観光協会 副会長																																																	
	柴山 直子	大津百町エリア部会 委員																																																	
	福家 俊彦	天台寺門宗総本山圓城寺 長吏																																																	
関係行政機関	北村 智顕	滋賀県土木交通部 技監																																																	
市職員	杉江 進	大津市歴史博物館 館長																																																	
	三國 昌克	大津市都市計画部 部長																																																	
	委員氏名	所属等																																																	
学識経験者	中嶋 節子	京都大学大学院人間・環境学研究科 教授																																																	
	岡井 有佳	立命館大学理工学部 教授																																																	
	加藤 賢治	成安造形大学地域実践領域 教授																																																	
関係団体代表	金子 博美	公益社団法人びわ湖大津観光協会 副会長																																																	
	柴山 直子	大津百町エリア部会 委員																																																	
	鷲尾 龍華	石山寺 座主																																																	
関係行政機関	黒澤 伸行	滋賀県土木交通部 技監																																																	
市職員	木津 勝	大津市歴史博物館 副館長																																																	
	内川 直樹	大津市都市計画部 部長																																																	

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
大津市景観計画の改定		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 大津市景観計画の改定を行う。重点区域においては、特に歴史的なまちなみ景観の保全・形成を目指し、建築物などへの新築・増築などの行為に対する新たな規制誘導基準を設定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成18年に策定した大津市景観計画は、策定後17年が経過している。このため、令和4年度から令和6年度までの3カ年をかけて、計画の大幅な見直しを行い、第2次大津市景観計画を策定する。

第2次景観計画策定にあたっては、社会情勢の変化や景観に対する市民意識等を踏まえるとともに、令和2年度に策定した「大津市歴史的風致維持向上計画」や「びわこ東海道景観基本計画」の趣旨に基づく景観形成と整合を図る。

令和5年度は、第2次大津市景観計画原案の作成及び大津市景観計画ガイドライン素案(公共サイン編を除く)を作成した。

令和6年度は、計画案、大津市景観法施行条例改正案及びガイドライン案(公共サイン編を含む)の作成を進め、パブリックコメントなどの必要な手続きを経て、計画及びガイドラインの策定を行い、施行条例を改正した。

令和7年度の4月～10月に周知を行い、11月より条例及び第2次大津市景観計画を施行する。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

主な変更点

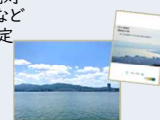
①景観区を「景観エリア」に再編

景観計画では、それぞれの地域特性に合った方針を定めるため、市域を区分している。地域特性に基づき市域を区分する景観地域は旧計画から踏襲しつつ、景観形成の基本単位については、細分化され分かりにくさのあった景観区を再編し、土地利用の現況や用途など景観特性の違いに応じて指定する景観エリアを新たに指定する。



③対岸眺望景観保全地域を設定

令和3年3月に策定した「びわこ東海道景観基本計画」に基づき、草津市側から本市側の水と緑の大景観などを望むことができる「対岸重要眺望点」およびその視対象となる景観に影響を与えると考えられる建築行為などを誘導する「対岸眺望景観保全地域」をそれぞれ指定する。



②景観重点区域を設定

景観上重要な地域で、これまでも地域住民と行政の協働により地域で育まれてきた特性を活かした景観づくりに取り組んでいる「堅田地域」「坂本地域」「大津百町地域」の3つの地域を対象に景観重点地区を指定し、それぞれの地区に応じた景観形成基準などを定める。

景観重点地区の景観計画に関する方針(イラスト)



堅田景観重点地区



坂本景観重点地区



大津百町景観重点地区

④景観づくりの基本方針の新設

景観づくりを推進していくため、関係者間の役割や行動計画、市が行う推進方策の内容について示す。



景観づくりの主体

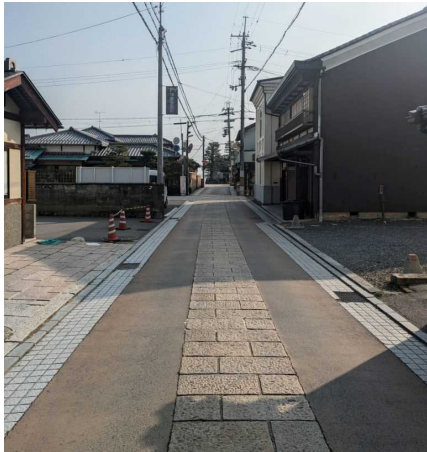


景観づくりのプロセス

第2次大津市景観計画の策定

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
景観保全型広告整備地区の新規設定			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	歴史的なまちなみ景観の保全・形成を目指し、屋外広告物の新設などの行為に対する新たな規制誘導基準を設定するため、景観保全型広告整備地区を新たに設定する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度から令和6年度までの3カ年をかけて第2次大津市景観計画の策定作業を進めており、同計画には大津市歴史的風致維持向上計画に指定されている重点区域に留意して、景観上重要な地域を景観重点地区に指定する予定である。また、同計画に屋外広告物景観の形成に関する方針を示し、計画策定後に景観重点地区における屋外広告物の面積や色彩等、景観保全型広告整備地区について検討する。 令和6年度は第2次大津市景観計画に指定される重点地区において、屋外広告物の調査に向けた検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		来年度以降、重点地区内に掲出されている広告物について順次調査を行う。調査結果を踏まえ、新たな規制誘導基準が必要かどうかを検討する。	
状況を示す写真や資料等			
 堅田重点地区 満月寺参道  堅田重点地区 出島の灯台前  坂本重点地区 日吉大社参道  坂本重点地区 日吉大社参道			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
歴史的建造物の資料館などとしての活用			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	延暦寺の里坊であった旧竹林院や山門公人の住居であった旧岡本家住宅主屋ほかといった歴史的建造物を活用し、坂本の歴史や文化についての情報発信の拠点などとして活用する。なお、管理運営については指定管理者による。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
公人屋敷 来館者数：2,459人(令和6年度実績) 自主事業：坂本銭の写真・パネル展示、坂本今昔写真展等 旧竹林院 来園者数：61,792人(令和6年度実績) 自主事業：絵画展・木芸展・陶芸展等			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和6年度は、インパウンド利用者の増加を踏まえて多言語マナーブックを制作し、安全かつ快適に利用できるよう取組を実施した。引き続き歴史ある「坂本」の歴史・伝統・文化に親しめる拠点として取組を進めたい。	

状況を示す写真や資料等



旧竹林院



公人屋敷



旧竹林院：絵画展



公人屋敷：坂本今昔写真展

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
歴史的風致形成建造物への指定と保存のための整備		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）

支援事業名 社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業補助金）

計画に記載している内容 区域内に存在する歴史的建造物について、所有者の承諾のもと調査を実施し、歴史的風致形成建造物への指定や保存整備（またはその経費の一部の補助）を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年10月1日付けで、民間の建造物としては市初となる3件を歴史的風致形成建造物に指定した。うち2件では、令和6年8月1日に制定した大津市歴史的風致形成建造物修理補助金を活用し、建造物の外観修理を実施された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

歴史的風致形成建造物の指定候補物件の所有者との協議を行い、指定を進めていく。

状況を示す写真や資料等

令和6年10月1日付けで指定した歴史的風致形成建造物 3件

建造物：桐畑家住宅
主屋、離れ、土蔵
指定番号：第2号



修理後

建造物：北川家住宅
主屋、土蔵
指定番号：第3号



建造物：川村家住宅
主屋
指定番号：第4号

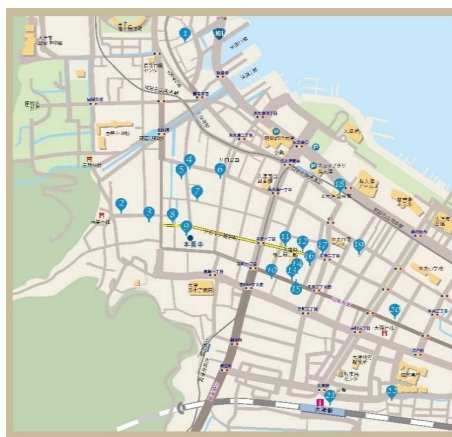
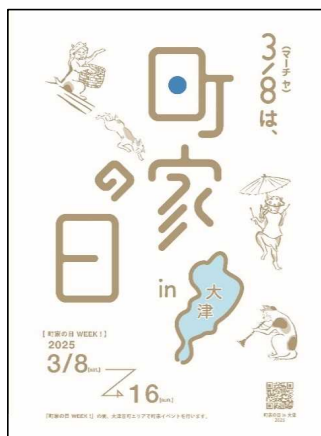


評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和 6 年度
項目		現在の状況	
町家の利活用の支援		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
※3月8日は町家の日 in 大津			
事業期間	平成28年度（2016年度）～令和12年度（2030年度）		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	空き町家などを活用するためのまちの活性化に関する調査や、その担い手を育成することを目的とする勉強会の開催などを行う。町家の魅力を広く周知啓発するため、町家を活用したイベントなどを開催する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
大津百町エリア部会が町家普及イベントである「3月8日は町家の日in大津2025」を実施。平成28年度より京都から始まり、令和6年度は令和7年3月8日～3月16日に開催した。大津では令和2年から取り組み、コロナでの中止を経て、4回目の開催となる。22の参加協力者があり、大津百町エリアの各町家が趣向を凝らして企画した物販、体験、見学など26の企画を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	町家の利活用を発信できる参加協力者を増やし、町家の魅力、大津百町に残したい景観と文化を次世代に繋ぐイベントとして定着させることが課題のため、イベントの意義や情報発信力・拡散力の強化をする。		

状況を示す写真や資料等

3月8日は町家の日in大津2025
パンフレット

カフェゴジウカラ



リュエルしなやか



kimono tento

3月8日は町家の日in大津2025
開催時の様子

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
町家の利活用の支援 ※町家の悉皆調査		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度（2016年度）～令和12年度（2030年度）		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	空き町家などを活用するためのまちの活性化に関する調査や、その担い手を育成することを目的とする勉強会の開催などを行う。町家の魅力を広く周知啓発するため、町家を活用したイベントなどを開催する。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年11月初旬から、大津百町エリア部会で大津百町エリアにある町家の悉皆調査を実施した。 平成24年度調査 大津町家1,510棟 うち空き家271棟 令和6年度調査 大津町家1,075棟 うち空き家216棟 取り壊し435棟			
進捗状況	※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		平成16年度より不定期に実施してきた町家の悉皆調査のエリアは、平成12年1月に策定した旧中心市街地活性化基本計画の区域（旧中活エリア）で、本来の大津百町の区域とは異なっているため、今後、大津百町エリアに調査範囲を広げることを検討したい。	
状況を示す写真や資料等			

町家の悉皆調査

目的:これからの大津町家の利活用を有効的に継承するため、現状を調査し基礎的な情報収集を行うことで、今後の事業に繋げていくため実施する

結果:

平成24年度調査
大津町家 1,510棟
うち、空き家 271棟

約3割取り壊し

令和6年度調査
大津町家 1,075棟
うち、空き家 216棟
取り壊し 435棟

考察:減少の大きな要因は、北国海道の道路拡幅事業や大津駅前の区画整理事業完了によるものと考えられる。



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
まちなみ修景整備への補助		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）

支援事業名 社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業補助金）

計画に記載している内容 歴史的なまちなみの景観を保全及び形成するため、景観に配慮した建造物の外観の整備を行う者に対して、その経費の一部を補助する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

堅田地区の景観協定の区域および坂本地区の県道比叡山線沿道地区地区計画の区域のうち道路拡幅事業が行われる区間を対象としており、令和6年度は、坂本重点区域1件補助
 ※坂本地区で補助金の活用意向調査を実施したところ、6件回答があった。1件は令和6年度、5件は来年度以降を予定。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	堅田地区でも意向調査を行い、補助対象者の補助金活用を促進する。

状況を示す写真や資料等

【修景前】



【修景後】



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
道路の美装化		現在の状況
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和4年度（2022年度）～令和12年度（2030年度）

支援事業名 社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業補助金）

計画に記載している内容

【市道幹1012号線、市道幹1016号線】※堅田重点区域
歴史的まちなみと調和した修景舗装などによる空間整備を行う。

【市道中2524号線、市道中3315号線】※大津百町重点区域
歴史的まちなみや大津祭の曳山及び長等神社の参道と調和した修景舗装などによる空間整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

大津百町重点区域内のナカマチ商店街で令和7年度から順次工事着手予定。

- ・令和6年1月、地元説明を行った。
- ・令和6年8月、隣接する商店街に工事の概要説明を行った。
- ・令和6年10月、道路の美装化に先立ち、ライフライン（水道・ガス）の布設替工事の発注を行い、12月に契約を締結した。
- ・令和7年3月現在、ライフライン（水道・ガス）の布設替工事を施工中。今後は修景舗装のための測量および設計積算を実施する。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

今後も地元と調整を図りながら、順次進めていく。

状況を示す写真や資料等



美装化事業実施予定箇所



美装化イメージ＜京町通り（旧東海道）＞

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
祭行事の開催費用の補助		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	市内各地で行われる多くの祭行事は本市の歴史的観光資源である。そのなかでも特に本市の観光振興に寄与すると思われる祭行事の開催に要する経費に対し、必要に応じて学識経験者などの指導を得ながら、補助金を交付する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
大津三大祭事業補助金(15,538千円／決算額) 【大津祭】感染症流行前と同水準で曳山巡行を実施した。 【日吉山王祭】感染症流行前と同水準で神事や神輿渡御等を実施した。 【船幸祭】前年に引き続き船渡御、奉納花火を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		人件費や物件費が上昇している状況が課題であり、各事業者には自主財源の確保を促していく方針である。	

状況を示す写真や資料等



「大津祭」ポスター



「山王祭」ポスター



「船幸祭」ポスター

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
歴史的観光資源を活用した事業への補助		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度（2014年度）～令和12年度（2030年度）		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	祭行事のパブリックビューイングの開催など、市内に点在する歴史的観光資源を活用した事業に要する経費に対し、必要に応じて学識経験者などの指導を得ながら、補助金を交付する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
大津市歴史的観光資源活用事業補助金（2,252千円／決算額） 補助を実施中の事業 4件 ・石山寺と『源氏供養』PR事業 ・瀬田川流域観光のパンフレット、ポスター類の増刷 ・坂本歴史街道 ～石積みのまち坂本を歩く～ ・歴史ある食文化を活用した誘客事業（大津のうなぎブランディング事業）			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市外からの観光客を更に呼び込み、歴史的観光資源を活用することができる事業の選定に引き続き取り組む方針である。		
状況を示す写真や資料等			



「大津のうなぎ」パンフレット

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
地域の歴史資料館の運営の補助		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）

支援事業名 市単独費

計画に記載している内容 堅田の歴史についての展示を行っている湖族の郷資料館を運営する実行委員会への補助を行う。また、大津祭に関する展示などを行っている曳山展示館を情報発信の拠点として指定管理者による管理運営を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

湖族の郷資料館 来館者数：1,160人（令和6年度実績）
 大津祭曳山展示館 来館者数：5,592人（令和6年度実績）※多目的ホール利用者は除く
 指定管理者による自主事業：大津祭関連グッズの販売、ちま吉の着ぐるみ展示、大津まちなか大学協力、ちま吉仕様自動販売機設置

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	湖族の郷資料館においては、地元学校の学習で活用するなど堅田の歴史継承に取り組んでおり、引き続き補助支援を行っていく方針である。大津祭曳山展示館については、引き続き施設の魅力向上に努め、大津祭の歴史及び文化の継承を図っていく方針である。

状況を示す写真や資料等



湖族の郷資料館展示



湖族の郷資料館展示



大津祭曳山展示館



大津祭曳山西王母山レプリカ

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

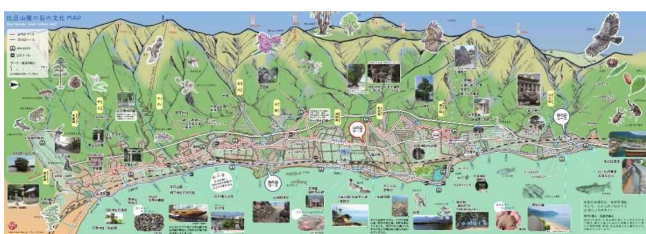
令和6年度		令和6年度
項目		現在の状況
地域固有の歴史・文化遺産の発信		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）	
支援事業名	市単独費	
計画に記載している内容	地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。	
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で		
マップ等増刷事業として、地域固有の歴史文化を発信できる既存のマップ等を市HPや市広報誌などで募集したところ、3団体から応募があり、各団体3,000部増刷した。増刷したマップは、まちあるきガイドや小学校の地域学習などで活用いただく。マップの該当地区の施設や行政機関、教育機関など広く配布する。 【応募のあったマップ等】・下阪本まちさんぽ　・びわ湖堅田湖族の郷マップ　・比良山麓の石の文化MAP		
進捗状況	※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		次年度も引き続き募集を行い、地域の歴史文化の発信を支援する。

状況を示す写真や資料等



下阪本学区まちづくり協議会
『下阪本まちさんぽ』

NP0法人 湖族の郷
『びわ湖堅田湖族の郷マップ』



NP0法人 比良の里人
『比良山麓の石の文化MAP』

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
東海道統一案内看板の普及啓発		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度（2017年度）～令和12年度（2030年度）

支援事業名 市単独費

計画に記載している内容 現在、本市内の東海道沿道の一部地域では、東海道であることを表示する看板を設置している。しかし、デザインが統一されていないなどの理由でわかりにくいことから、東海道であることを東海道沿道の地域住民や来訪者にわかりやすく伝えるため、草津市役所と連携し、「東海道統一案内看板ロゴマーク」が描かれた案内看板の設置を東海道沿道の地域住民などに普及啓発する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年度設置数 2基（草津市1基・大津市1基[R7. 4月設置予定]）

令和6年度景観づくりチャレンジ隊 参加人数 57名・作製した看板数 2基

※景観づくりチャレンジ隊は、本市と草津市で共有する素晴らしい景観を両市の子供たちに体感してもらう両市連携の事業である。このイベントにおいて、東海道統一案内看板の製作体験を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

今後も同事業に賛同いただける方々とともに、東海道統一案内看板のさらなる普及に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等



景観づくりチャレンジ隊
東海道統一案内看板色塗り体験

No.	設置場所	設置時期	設置者・寄贈者等
1号	大津市京町一丁目3-35	平成29年10月	田中興産株式会社
2号	草津市草津三丁目9-15	平成29年10月	野路屋
3号	甲賀市水口町八坂7-4	平成31年4月	水口ロータリークラブ
4号	草津市草津三丁目11-37	令和元年11月	八百久
5号	大津市中央一丁目2-6	令和元年11月	商店街ホテル関係者
6号	甲賀市水口町元町4-1	令和2年7月	水口ロータリークラブ
7号	甲賀市水口町西林口3-2	令和2年7月	水口ロータリークラブ
8号	三重県三重郡朝日町小向1264-2	令和2年11月	朝日町
9号	大津市木下町13-1	令和2年12月	加藤酒店
10号	草津市草津二丁目7-30	令和2年12月	ペーカリー&カフェ脇本陣
11号	湖南市石部中央三丁目11-21	令和3年3月	石部学区まちづくり協議会
12号	大津市本丸町2-8	令和3年3月	膳所商店街振興組合(有志)
13号	大津市中庄一丁目15-23	令和3年6月	膳所商店街振興組合(有志)
14号	大津市本丸町3-16	令和3年6月	膳所商店街振興組合(有志)
15号	大津市杉浦町22-2	令和3年9月	膳所商店街振興組合(有志)
16号	大津市本丸町3-7	令和3年9月	膳所商店街振興組合(有志)
17号	大津市丸の内4-38	令和3年9月	膳所商店街振興組合(有志)
18号	甲賀市土山町南土山1637	令和3年11月	滋賀県建築士会 大津地区委員会
19号	甲賀市土山町南土山438	令和3年11月	滋賀県建築士会 大津地区委員会
20号	甲賀市土山町南土山320	令和3年11月	滋賀県建築士会 大津地区委員会
21号	甲賀市土山町北土山626	令和3年11月	滋賀県建築士会 大津地区委員会

22号	大津市西の庄15-16	令和3年12月	滋賀県建築士会 大津地区委員会
23号	大津市木下町7-13	令和3年12月	滋賀県建築士会 大津地区委員会
24号	大津市中庄一丁目14-24	令和3年12月	滋賀県建築士会 大津地区委員会
25号	大津市杉浦町20-20	令和3年12月	滋賀県建築士会 大津地区委員会
26号	湖南市石部東八丁目2	令和4年1月	石部学区まちづくり協議会
27号	湖南市石部西二丁目10	令和4年1月	石部学区まちづくり協議会
28号	湖南市石部西二丁目10	令和4年1月	石部学区まちづくり協議会
29号	大津市木下町17-31	令和4年1月	膳所商店街振興組合(有志)
30号	大津市御殿浜4-8	令和4年1月	膳所商店街振興組合(有志)
31号	大津市中庄一丁目14-28	令和4年1月	膳所商店街振興組合(有志)
32号	草津市草津二丁目10-21	令和4年1月	くさつ夢本陣
33号	大津市本丸町1-18	令和4年	膳所商店街振興組合(有志)
34号	大津市栗津町17	令和4年7月	石山らんらんサロン
35号	草津市野路4丁目3-26	令和5年2月	野路町内会
36号	草津市野路6丁目5-13	令和5年2月	野路町内会（野路上北池公園）
37号	草津市野路6丁目5-13	令和5年2月	野路町内会（野路上北池公園）
38号	大津市島居川町6-28	令和5年3月	YOUR SHISEIDO 幸田
39号	湖南市石部西2丁目8番地	令和5年3月	石部学区まちづくり協議会
40号	湖南市石部東5丁目1番地	令和5年3月	石部学区まちづくり協議会
41号	草津市矢倉2丁目2-1	令和6年2月	(株)瀬川元 瓢泉堂
42号	草津市矢倉2丁目2-1	令和6年2月	(株)瀬川元 瓢泉堂
43号	草津市矢倉2丁目5-50	令和7年2月	草津市立矢倉小学校

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
地域の人材活躍の支援 ※歴史的風致魅力発信動画制作		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）

支援事業名 市単独費

計画に記載している内容 地域での観光ボランティアガイドや歴史に関する研究、発表を行っている個人や団体に対して、団体間の交流を促す交流会や歴史に関する知見をさらに深めてもらうための勉強会を開催する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

次世代の地域住民への歴史文化の継承に寄与することを目的に、当計画に選定した歴史的風致の魅力発信する動画を制作した。令和4年度は大津百町地域の動画を制作し、令和5年度から令和6年度にかけては坂本地域や堅田地域を中心に、市域全域を対象とした歴史的風致の魅力発信する動画を制作した。合わせて60本となった動画は市のYouTubeチャンネルで公開しており、総再生回数は約15,000回となった。市の広報誌やびわ湖放送でのCM放送により周知を図り、その結果、ロンドンで開催された大津祭の再現イベントや、令和7年度大津市20歳のつどいなどで活用希望があり、6者から動画の使用申請を受けた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない 今後もチラシ配布などにより動画を周知し、大津の歴史文化の継承と動画の活用を図っていく。

状況を示す写真や資料等

令和4年度制作テーマ

- ① 「大津祭」とは
- ② 大津祭「園取り式」
- ③ 大津祭「囃子の稲古と山建て」
- ④ 大津祭「宵宮」
- ⑤ 大津祭「曳山巡行」
- ⑥ 大津祭「蔵納めと奉告祭」
- ⑦ 大津祭「風習」
- ⑧ 大津祭「曳山のからくり人形」
- ⑨ 大津別院
- ⑩ 港町・宿場町大津の商業について

- ⑪ 大津のお酒「平井商店」
- ⑫ 大津の水産業「坂本屋」
- ⑬ 大津の和菓子「叶匠寿庵・鶴里堂・餅兵」
- ⑭ 大津の商業「大津絵」
- ⑮ 港町・宿場町大津に関わりの深い社寺について
- ⑯ 港町・宿場町大津に関わりの深い社寺「関蟬丸神社」
- ⑰ 港町・宿場町大津に関わりの深い社寺「義仲寺」
- ⑱ 港町・宿場町大津に関わりの深い社寺「平野神社」
- ⑲ 小舟入の常夜灯
- ⑳ 近江八景について

- ㉑ 近江八景「三井の晩鐘」
- ㉒ 三井寺「観音堂」
- ㉓ 三井寺「観月舞台・絵馬堂」
- ㉔ 三井寺周辺の社寺について
- ㉕ 三井寺周辺の社寺「長等神社 網打祭」
- ㉖ 三井寺周辺の社寺「三尾神社 蛇打ち」
- ㉗ 360°動画「大津別院」
- ㉘ 三井寺周辺の社寺「早尾神社 蛇の顔見世」
- ㉙ 三井寺の門前町「粋世・御料理豆信」

令和5、6年度制作テーマ

- ① みたらし祭
- ② 琵琶湖を美しくする運動
- ③ 百間堤
- ④ 出島の灯台
- ⑤ 浮御堂 魚清楼
- ⑥ 居初家天然図画亭
- ⑦ 堅田地域の神社
- ⑧ 供御人行列
- ⑨ 野神祭
- ⑩ 膳所城跡公園

- ⑪ 膳所総祭り
- ⑫ 地域の神社で行われる例祭
- ⑬ 近江神宮
- ⑭ 元三会
- ⑮ 葛川夏安居への道
- ⑯ 葛川夏安居 太鼓廻し
- ⑰ 里坊
- ⑱ 坂本の地蔵盆
- ⑲ 戸津説法
- ⑳ 法華千部会

- ㉑ 虫干会
- ㉒ 青鬼祭 千日会
- ㉓ 幻住庵芭蕉祭
- ㉔ 日吉大社
- ㉕ お輿上げ 大神神事
- ㉖ 禊神事 午の神事
- ㉗ 神輿入れ神事 花渡り式
- ㉘ 宵宮落し神事
- ㉙ 例祭 船渡御
- ㉚ 船幸祭の本祭に向けた行事
- ㉛ 船幸祭本祭



特設サイトチラシ

制作動画一覧

制作した動画を公開する特設サイト
【トップ画面】動画活用事例
【ジャパン・ハウス・ロンドン】動画活用事例
【20歳のつどい】

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和6年度		令和6年度
項目		現在の状況
地域の人材活躍の支援 ※歴まちパネル展		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）	
支援事業名	市単独費	
計画に記載している内容	地域での観光ボランティアガイドや歴史に関する研究、発表を行っている個人や団体に対して、団体間の交流を促す交流会や歴史に関する知見をさらに深めてもらうための勉強会を開催する。	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
3つの重点区域で地元のイベントと連携し、歴史的風致に関するパネル展を実施した。各イベントで『大津歴まち90秒大学』のチラシを配布し、旧大津公会堂でのパネル展では動画放映も行った。 ◎大津百町（旧大津公会堂）：R6. 8. 8（びわ湖大花火大会） 来場者43名 ◎坂本（坂本支所）：R6. 11. 9（坂本学区文化祭） 来場者約800名 ◎堅田（堅田コミュニティセンター）：R6. 11. 2～4（堅田学区文化祭） 来場者792名（総合作品展）		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も地元のイベントと連携し、パネル展の実施により歴史的風致の周知を行う。	
状況を示す写真や資料等		



大津百町パネル展（旧大津公会堂）



堅田パネル展（堅田コミュニティセンター）

大津歴まち90秒大学動画放映
（旧大津公会堂）

坂本パネル展（坂本支所）

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和 6 年度
		現在の状況
地域の人材活躍の支援		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
※大学との連携		

事業期間 令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）

支援事業名 市単独費

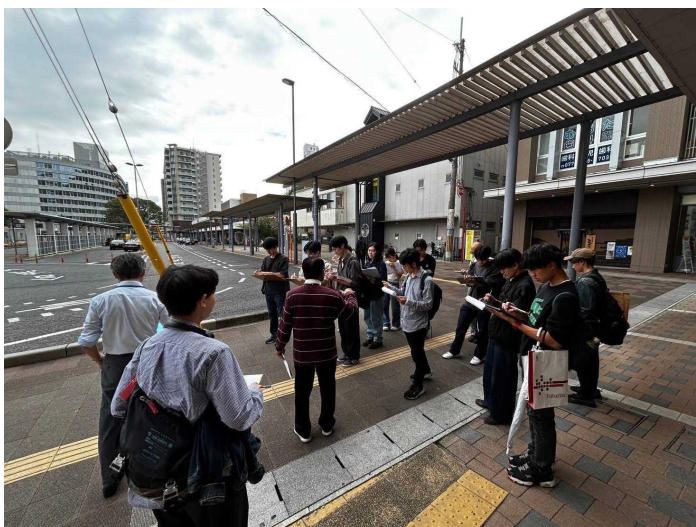
計画に記載している内容 地域での観光ボランティアガイドや歴史に関する研究、発表を行っている個人や団体に対して、団体間の交流を促す交流会や歴史に関する知見をさらに深めてもらうための勉強会を開催する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

立命館大学理工学部環境都市工学科のまちづくり演習で、大津百町エリア部会にまちあるき講師依頼があり、10月16日と21日の2日に分けて、学生17名に大津百町エリアのまちあるきを実施した。演習は、学生が地区の課題を発見し、その課題に対する提案をするという内容で、3回生25名が受講されている。最終発表では、ナカマチ商店街や大津駅周辺で取ったアンケートなどをもとに事業案を発表され、居酒屋街や主婦層が行けるカフェなどの提案があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	学生の事業案をもとに、大学生・地域住民・企業・行政が協働し実現可能なアイデアを具体化する（実証実験の実施）。

状況を示す写真や資料等



まちあるきの様子

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
大津まちなか大学の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	まちづくりの中核を担う人材育成を目的に大津まちなか大学を開設している。同大学には、大津百町の魅力を伝え、発信できる人材の育成を目的とした、大津百町エリア部会による「歴まちガイド育成学部」と、大津祭を学び、体験することを通じて先人の知恵と気質を継承する人材の育成を目的とした、特定非営利活動法人大津祭曳山連盟による「大津祭学部」があり、それらの学部でまち歩き講座やワークショップの開催などを行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
大津まちなか大学大津祭学部は、令和6年度は20名の参加があった。全11回の講義、フィールドワークを実施し、20名が卒業した。 大津まちなか大学歴まちガイド育成学部は、令和6年度は11名の参加があり、全5回の講義とフィールドワークを実施し、11名が当学部を修了した。修了した受講生はボランティアガイドや個人プロガイドとして活躍する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	歴まちガイド育成学部については、大津百町エリア内で、ガイドが必要な時は卒業生が対応したり定期的にスキルアップのための研修を開催したりと、継続した人材育成の体制を強化する。		
状況を示す写真や資料等			



大津祭学部 入学式



大津祭学部 お囃子演奏



歴まちガイド育成学部 大津百町案内の極意



歴まちガイド育成学部 三井寺の歴史と魅力

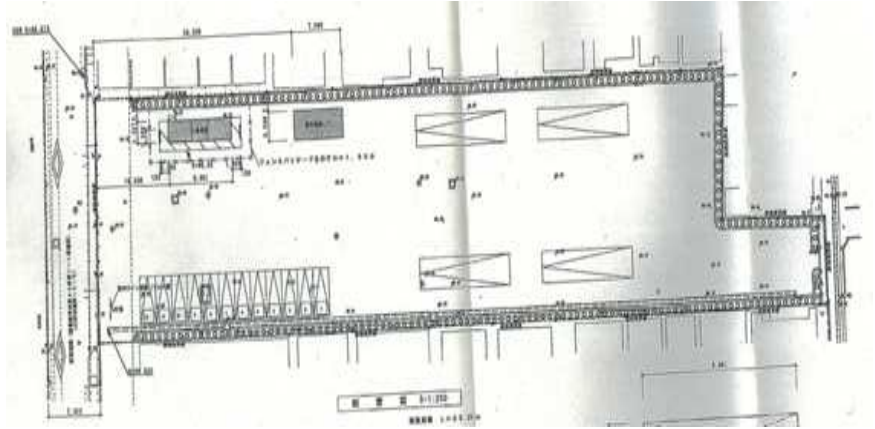
評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
大津人実践講座の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度（2016年度）～令和12年度（2030年度）		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	市民を対象に、地域の歴史や福祉など複数あるテーマのうちから、テーマを1つ取り上げ、テーマにあった地域づくりに取り組んでいる団体の活動などについて学ぶ機会を設けることで、地域への関心を高め、地域を愛する心を育み、地域づくりに貢献する人（大津人）を育てる。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
より多くの市民の受講機会を増やすため再開した大津人基礎講座を6月と8月に開催し、大津人実践講座を12月から1月にかけて瀬田北学区をフィールドに計3回開催。また、実践講座においては、「まちを見る目を養おう」、「まちの課題を解決する目を養おう」をテーマとして、グループディスカッションを行いながら地域課題を解決するための様々なアイデアを発表してもらった。 基礎講座受講者数：6月（84名）、8月（70名） 実践講座受講者数：12月～1月（受講者32名、学生13名）			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後も引き続き、大学や地域との連携を深めながら地域づくりに主体的に行動できる人材の育成に取り組んでいく。また、大津を知り、大津を愛する大津人を育てるため、今後も大津人基礎講座及び実践講座を開催して、多くの市民へ受講機会を増やしていく。	
状況を示す写真や資料等			
 大津人基礎講座 ・ユネスコ『世界の記憶』と三井寺の歴史 ・大津絵 絵師の技法・絵の歴史   大津人実践講座 瀬田北学区内のまち歩き及び歴史的な旧跡や遺跡、道標などの解説 			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
観光施設の維持管理		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	堅田重点区域への主な動線上にある堅田観光駐車場（東洋紡前、湖族の郷資料館前）の維持管理を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
・堅田観光駐車場（東洋紡前） 堅田観光協会へ管理業務を委託：8時30分～17時30分施錠。観光目的以外の駐車車両に対する排除勧告。 駐車台数：普通車60～80台、バス4台 ・堅田観光駐車場（湖族の郷資料館前） 湖族の郷資料館運営委員会へ委託：常時開放。付帯便所及び駐車場清掃、観光目的以外の駐車車両に対する排除勧告。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き適切な維持管理に努める。	
状況を示す写真や資料等			
 観光駐車場案内板  観光駐車場所所在地 （『湖族の郷 まち歩きマップ』より）  観光駐車場平面図			

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
公共空間の活用		現在の状況
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）

支援事業名 市単独費

計画に記載している内容 JR大津駅から大津百町区域への主要な動線となる市道幹1037号線において、歩きやすい歩行者空間の整備を行うことに加えて、オープンモールなどのイベントを開催することにより、にぎわいを創出する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

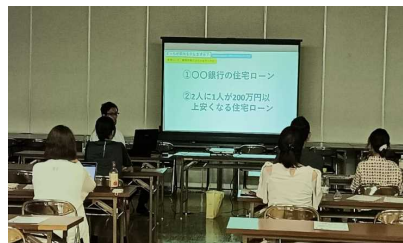
JR大津駅から湖岸やまちなかへの動線づくりとにぎわい創出に向け、官民連携により大津駅前広場をはじめとした公共空間の日常的な利活用を促進する取組を進めている。

今年度においては、都市再生推進法人である株式会社まちづくり大津と連携し、イベント等を成功させるための実践的なセミナーを開催し、出店者やイベントの企画・運営者の発掘、育成を行った。取組の結果、令和6年4月から令和7年3月にかけて、延べ74日間、22団体によりキッチンカーの出店やマルシェ、音楽ライブ、ビアガーデンなどさまざまな催しが行われ、多くの来場者でにぎわった。

来年度以降も株式会社まちづくり大津と連携を密にし、公共空間の利活用促進を図っていく。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	冬季に催しがほとんど開催されず、にぎわいが平準化できていないことやイベント主催者や出店者の絶対数が依然として少ないなどの課題がある。これらの課題をもとに、令和7年度においては、都市再生推進法人である株式会社まちづくり大津と連携し、取り組みを進めていく。

状況を示す写真や資料等



イベント等の主催者や出店希望者に向けたセミナーのチラシ及び開催時の様子



公共空間が利活用できることを周知
イベント主催者や出店者を広く募集

「パンと珈琲」おおつむすびマルシェ
チラシとイベント開催の様子



「こども習いごとフェスタ」
チラシとイベント開催の様子

その他のイベント開催時の様子

評価軸③-16

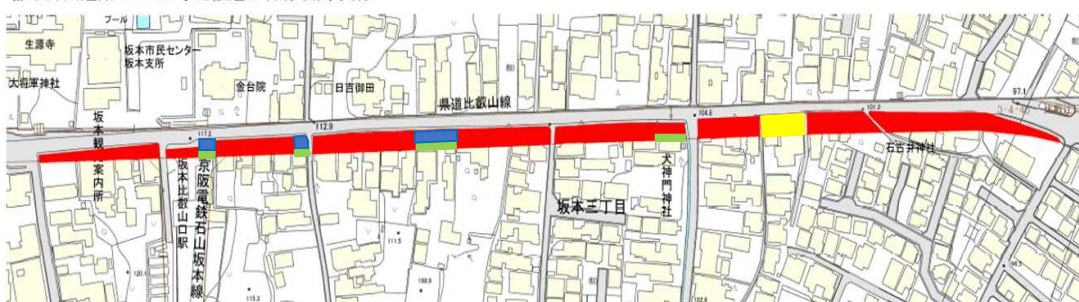
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和6年度	
項目	現在の状況
道路の拡幅整備(都市計画道路比叡辻日吉線)	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成25年度（2013年度）～令和9年度（2027年度）
支援事業名	道路交通安全対策事業（通学路緊急対策）
計画に記載している内容	山王祭の主要ルートであり、JRや京阪電車の駅からの坂本区域への主要な動線となる都市計画道路3・4・46号比叡辻日吉線の拡幅とそれに伴う無電柱化、修景整備を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
用地買収が完了した箇所について順次、拡幅整備を行っており、令和6年度は下記のとおり事業を行った。	
用地買収 1件 側溝工事 4件 仮舗装 3件	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	令和9年度の事業認可期間内に事業を完了できるよう用地取得と工事を計画的に実施していく。
状況を示す写真や資料等	

事業全体図



都市計画道路3・4・46号比叡辻日吉線改良事業



事業概要

事業名称：都市計画道路3・4・46号比叡辻日吉線改良事業

所在地：大津市坂本三丁目～同市坂本四丁目

全体事業費：35億円

事業計画：延長＝690m 幅員＝16m 車線数：2

事業期間：平成25年度～

累計契約件数：52件

残物件数：3件(令和7年3月末時点)

着工前



着工後



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
道路の拡幅整備(都市計画道路本堅田衣川線)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度(2017年度)～令和9年度(2027年度)

支援事業名 道路交通安全対策事業(通学路緊急対策)

計画に記載している内容 主要幹線道路から堅田重点区域への主な動線となる都市計画道路3・5・101号本堅田衣川線の拡幅とそれに伴う修景整備を行う。

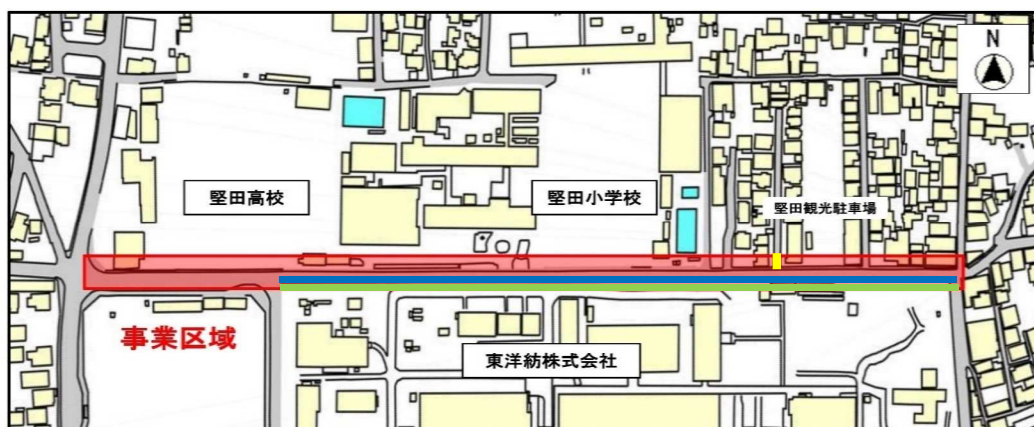
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

用地買収が完了した箇所について順次、拡幅整備を行っており、令和6年度は下記のとおり事業を行った。

側溝工事 1件 用地取得 6件
 仮舗装 1件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	令和9年度までの事業期間の延長を行った。そのため、今後は計画的に用地取得と工事を進めていく。

状況を示す写真や資料等



事業概要

事業名称：都市計画道路3・5・101号本堅田衣川線改良事業

所在地：大津市堅田二丁目、同市本堅田三丁目

全体事業費：12.5億円

事業期間：平成29年度～

事業計画：延長＝510m 幅員＝14m 車線数＝2

累計契約件数：7件

残物件数：20件(令和7年3月末時点)

着工前



着工後



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
未指定文化財の調査		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 市内に残る未指定文化財について、所有者の承諾のもと、学識経験者などの指導を得ながら調査を実施し、文化財としての指定や登録などの保護措置や報告書の作成などに努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民俗文化財調査として、5月に開催された和邇祭の現地調査(聞き取り、写真撮影等)を専門家とともに2日間かけて行った。また、和邇祭関連文書調査や神輿の実測調査を実施し、報告書作成に向けて調査を継続している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	報告書作成に向けた計画的な調査実施のため、地元・専門家・市が連携を密にとる必要がある。

状況を示す写真や資料等



和邇祭 現地調査



和邇祭 神輿実測調査

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
文化財保存修理などへの補助			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	「大津市文化財保護条例」などに基づき、市内に所在する国・県・市指定文化財の修理及び管理に要する経費に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は、国宝延暦寺根本中堂及び重要文化財延暦寺根本中堂廻廊の保存修理をはじめ、国指定文化財の保存修理や防災施設事業など10件、県指定文化財の保存修理1件について、補助を実施した。また、国指定文化財の管理事業31件、県指定文化財の管理事業9件、市指定文化財の管理事業4件に対して補助を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		所有者の意向を踏まえつつ、計画的に事業を進めていくことが重要である。	
状況を示す写真や資料等			
 延暦寺 防災施設整備			
 文書修理調査			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
大津市伝統的建造物群保存地区での修理修景への補助		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区の歴史的景観を維持し向上させるため、歴史的建造物の保存修理事業または歴史的建造物以外の建築に関する修景事業を行う事業者に対して、修理または修景の補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本年は、修理事業2件、修景事業1件について、補助を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	計画的に事業を進めていくことが重要である。

状況を示す写真や資料等

【修理前】



【修理後】



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
文化観光振興などへの助成		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 「大津市文化財保護条例」などに基づき、必要に応じて学識経験者の指導を得ながら、有形・無形民俗文化財保存修理事業への補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国指定無形民俗文化財保存修理事業1件、市指定有形・無形民俗文化財保存修理事業8件に補助金を交付した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	所有者の意向を踏まえつつ、計画的に事業を進めていくことが重要である。

状況を示す写真や資料等



大津祭曳山西王母山保存修理



大津祭曳山源氏山保存修理



大津祭曳山湯立山保存修理

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）		
支援事業名	市単独費		
計画に記載している内容	発掘調査の成果の展示や埋蔵文化財に関連する講座を開催する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
・遺跡紹介展「山ノ神遺跡」・緊急ミニ企画展「坂本城跡」（令和6年2月5日～5月31日 入場者2・3月136人、4・5月655人） ・企画展「石のちから」（令和6年10日～11月11日 入場者753人） ・埋蔵文化財成果展「大津 むかし・むかし」 大津市歴史博物館講座室会場（令和6年10月22日～10月31日 入場者582人） 埋文センター1階展示室会場（令和6年11月11日～令和7年1月24日 12月27日現在で入場者92人）、 ・遺跡紹介展「衣川周辺の遺跡」（令和7年2月3日～5月30日）を開催 ・講座「学芸員と歩く紫式部ゆかりの石山寺」（令和6年6月15日 参加者30人） ・わくわくサイエンス（令和6年6月29日 大津市科学館にて参加者20人） ・サイエンス屋台村（令和6年7月20日 大津市生涯学習センターにて 参加者127人） ・夏休み子ども考古学くらぶ（令和6年7月23日～8月6日 ミニ土器作り・勾玉作り・拓本体験 参加者161人） ・「火起こし名人と火起こし体験」（令和6年8月20日～8月27日 参加者75人） ・源内峠遺跡現地見学会（令和6年9月7日 瀬田学区住民対象 参加者41人） ・発掘調査成果報告会（令和6年10月27日 大津市歴史博物館講堂にて 参加者69人）			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地域の方々に広く周知できるよう、周知方法を検討する。令和6年度は、周知方法を紙媒体の「広報おおつ」・ポスター・チラシの他に、大津市ホームページ内・大津市公式LINEでの情報発信、講座等の参加申込方法をハガキに加え、電子申請サービスを活用した。		

状況を示す写真や資料等



埋蔵文化財みにみに展「大津むかし・むかし」展示の様子（左：大津市歴史博物館にて 右：大津市埋蔵文化財調査センターにて）



「サイエンス屋台村」大津市生涯学習センターにて



発掘調査成果報告会の様子

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本市の持つ南北に細長い地理的特色を踏まえ、地域の焦点をあてた「テーマ展示」と市域全域の歴史の流れを年代順にたどる「歴史年表展示」によって構成された常設展示を実施する。また、市内での歴史上の出来事や歴史上の人物などのテーマに基づいた企画展示を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
特集展示関連企画展「紫式部と祈りの世界」(4, 441人)、夏季企画展「京極高次」(3, 664人)、JR湖西線開業50周年記念特別展「わたしの湖西線」(8, 281人)、秋季企画展「石山寺－密教と観音の聖地－」(5, 416人)を開催した。また、常設展示室において、令和5年度に引き続き、令和7年2月2日までの会期で、大河ドラマ「光る君へ」関連展示として、特集展示「源氏物語と大津」を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	大河ドラマ関連企画展・秋季展は、想定よりも多くの来館者があり、大津市内だけでなく全国から足を運んでいただけた。また、戦国時代や大津城、鉄道関連など、市民の関心が高いテーマでも企画を行った。今後(次年度以降)も時宜に応じた内容だけでなく、未指定文化財調査等の成果を発信する展覧会を企画していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
特集展示関連企画展「紫式部と祈りの世界」展示風景		夏季企画展「京極高次」展示風景	
			
JR湖西線開業50周年記念特別展「わたしの湖西線」		秋季企画展「石山寺－密教と観音の聖地－」展示風景	

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
歴史博物館での資料の調査や収集		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 個人や団体が所有する本市の歴史に関する資料について、調査を行い、収蔵品収集審査会の審査のもと資料を収集し、歴史博物館の資料の充実化を図る。また、資料に関する研究を行い、その成果を広報する研究紀要や報告書を発行する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「文化財保存活用計画」に基づき、市内寺社未指定文化財調査(令和7年3月末で10か所23回)、大津の食文化資料調査プロジェクト、大津町絵図プロジェクト、報告書発刊事業(美術1冊、古文書1冊、歴史資料1冊を編集)、古写真整理公開プロジェクト、館蔵品や未指定文化財の修理保存(修復・燻蒸)、文化財3Dスキャナー計測、古文書・歴史資料整理・調査事業、収蔵庫耐震補強事業などを行った。また、新規収蔵品として、購入資料8件(絵画7件、古文書1件)を受け入れた。さらに、研究紀要第30号を編集・発行した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

文化財調査は、所有者の意向をふまえながら計画的に進め、新発見や再認識などの成果が上がっている。収蔵品も大津に関わりのある文化財を積極的に収蔵している。今後も継続して市内外の関連資料調査を実施し、あわせて収蔵スペースの確保など課題に対し、収蔵品全体の再整理を進める。

状況を示す写真や資料等

調査の様子



評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
れきはく講座などの開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 市内の文化財などに関する情報発信を行う「歴博だより」の発行や市民を対象にした「れきはく講座」、小学生などを対象にした「ワークショップ」などを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年度は、48回の講座等イベントを実施し(うち現地見学3回とワークショップ7回、スライドトーク2回、ギャラリートーク10回を含む)の実施で、2,847名(4,753名申込)の参加があった。成安造形大学共催の夏休み子ども向けワークショップは、全16回の開催で299人(739人申込)の参加があった。いずれも多数の申し込みに抽選で対応している。歴博だよりは年4回を発行し、読み物風の文章で、展覧会や収蔵品の解説を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	座学やワークショップなど、多様な講座を積極的に行い、市民のニーズに応じている。また、歴博だよりや、ホームページ、X(旧ツイッター)、インスタグラムなどを用い、積極的に情報発信を行っている。今後は、未指定文化財調査の速報的内容の講座や、小中高校生も参加できるワークショップの充実化をはかる。

状況を示す写真や資料等



大津絵ワークショップ



れきはく講座(講談)



展覧会ギャラリートーク



れきはく講座

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
大津市 坂本城跡の石垣など 史跡指定向け県に協力要望	令和6年4月2日	NHK	
坂本城の遺構 国の史跡指定に向け県に要望	令和6年4月3日	BBC	
坂本城跡 県に調査・保存要望	令和6年4月3日	京都新聞	
坂本城跡 国史跡指定へ協力を	令和6年4月3日	中日新聞	
坂本城跡国史跡指定へ協力要望	令和6年4月3日	朝日新聞	
幻の坂本城に迫る	令和6年4月3日	読売新聞	
国史跡指定へ協力を	令和6年4月4日	毎日新聞	
坂本城跡 新たな石垣	令和6年6月1日	読売新聞	
坂本城 新たな石垣確認	令和6年6月3日	BBC	
大津市、桐畑家・北川家・川村家の3住宅、歴史的風致形成建造物に指定 民間初	令和6年9月20日	産経新聞(ネット)	
歴史的風致形成建造物に3件	令和6年9月21日	産経新聞	
桐畑家住宅など3件指定 大津市歴史的風致形成建造物	令和6年10月1日	読売新聞	
大津市の歴史的風致形成建造物 民間建物で初の指定	令和6年10月17日	中日新聞	
大津市中心部の町家調査 12年ぶり1軒ずつ確認	令和7年1月8日	京都新聞	
寺社や祭り 90秒解説 大津市が動画60本公開	令和7年1月8日	中日新聞	
大津市歴史的風致形成建造物に3件の住宅を指定	令和7年1月29日	NHK	
「町家の日」魅力PR	令和7年2月28日	読売新聞	
3月8日は、町家の日in大津2025	令和7年3月1日	リビング滋賀	
町家の知恵や魅力 体感を	令和7年3月6日	京都新聞	
築100年町家公開暮らし工夫伝え	令和7年3月9日	京都新聞	
街並み継承へ取り組み進む	令和7年3月14日	京都新聞	
大津で「町家の日」イベント 空き家再生した築120年の町家にも見学者	令和7年3月17日	びわ湖大津経済新聞(ネット)	
【大津市】3月8日の町家の日にちなんだ大津まち歩きイベント参加レポート！大津の魅力を再発見しました	令和7年3月20日	Yahoo!ニュース(ネット)	
坂本城跡 国の史跡指定へ申し入れ	令和7年3月27日	BBC	
坂本城跡 国史跡へ前進	令和7年3月28日	朝日新聞	
新年度にも国史跡指定か	令和7年3月28日	京都新聞	
坂本城跡 国史跡目指す	令和7年3月28日	中日新聞	
明智光秀が築いた“幻の城”坂本城跡 大津市が史跡指定を申請	令和7年3月28日	NHK	
坂本城跡の国史跡指定 大津市長「可能性高い」	令和7年3月28日	産経新聞	
坂本城跡 国史跡へ具申	令和7年3月28日	読売新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◎民間の建物では初となる大津市歴史的風致形成建造物の指定が3件あり、広く報道された。 ◎大津百町の町家の悉皆調査が大津百町エリア部会で実施され、広く報道された。 ◎大津歴まち90秒大学の動画を60本全て公開し、広く報道された。 ◎イベント「3月8日は町家の日in大津」が大津百町エリア部会主体で実施され、広く報道された。 ◎坂本城跡の石垣の発見や国史跡指定申請など、広く報道された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第14回大津市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和7年2月17日(月)9:30~11:30開催	
開催場所: 大津市役所	
(コメントの概要) 【補助制度】 ・歴史的風致形成建造物の指定が進んでいないように感じるため、指定にあたってのハードルがあれば、補助制度を手厚くするなど、是非解決していただきたい。 ・新設された歴史的風致形成建造物修理補助金は補助率や金額が決して低くなく、遜色ない額なので、しばらくこれで周知を進めてもらえたらと思う。 ・大津市は町家の数が多くあり、官民連携の取り組みを行ってきた経験からの感想としては、潜在的な可能性はあると考えているため、今回の町家の悉皆調査で取り壊しが多いという結果には愕然とした。不動産価値が高く、マンション開発が進む地域でもあるため、町家の保存や活用に向けて補助制度を手厚くしてもらえたらと思う。 ・歴まちの重点区域と、日本遺産などほかの制度の区域が被る場合には、市が補助率の良い補助制度を案内するなど、その他分野との連携を図ることが必要である。 【多言語化】 ・看板や動画など、日本語表記のみのものが多く感じるため、多言語化を進める必要がある。 ・多言語化はAIツールなどで簡単にできると思われるため、検討いただきたい。 【周知】 ・地元の人に歴まち計画が認知されていないからか、事業の反響が見えてこない。 ・大津市は文化財が広範囲にたくさんあることから、3つの重点区域を見ても統一感がないため、何か共通軸を作ってそれを地域の人や市外の人に知ってもらおうと効果的だと思う。 ・12の歴史的風致全てを認識してもらうことは難しいと思うので、まずは分かりやすいものを打ち出して一定期間周知すると、認知が進むのではないかとと思われる。 【町家】 ・町家は外国人含め買いたい人が多く、現状調査が大事になるため、お願いできればと思う。 ・町家の件数が減っているが、それが公共事業が理由なのであれば、今後はある程度維持されるものなのか、GIS等のツールを活用して、継続的にモニタリングする必要があると思う。 ・大津市に馴染むかは難しいが町家を保存するために、伝建地区にしたり緩やかな京町家条例的なものを考えたりして、そこへのプラスの支援を考えてはいかかか。 ・町家を周りの敷地も合わせて大きな敷地で売られるケースが増えてきていることから、都市計画で高さ制限をかけるなど、町家を保存するために今から検討しておく必要があると思う。 ・町家が残しつつ、コミュニティーも残る形を探るためのアイデアも早急に必要である。 【その他】 ・旧竹林院の来館者数が前年度より大幅に増えており、この要因から学び、他に展開できるものがあるのではないと思う。 ・全体的に他市町より人材育成講座などの参加者数が多く感じるため、ソフト面での事業投資をされてはどうか。 ・他市町では歴まちに関連するものを全て集めて評価しているということもあり、大津市でもいろんな部局に声をかけるともっと該当事業があるのではないと思う。 (今後の対応方針) ・歴史的風致形成建造物の指定については、所有者等へ指定制度や補助金制度の説明を行い、理解を得ながら順次進めていく。 ・多言語化については、まずは歴まち動画の多言語化を順次進めていく。 ・歴史的風致の周知については、歴まち動画の活用やパネル展等の実施により引き続き進めていく。 ・町家の保存活用については、引き続き大津百町エリア部会と連携して町家の調査や魅力の発信を行っていく。	